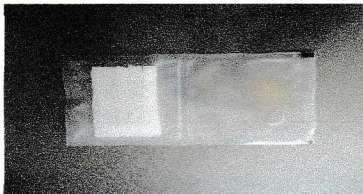
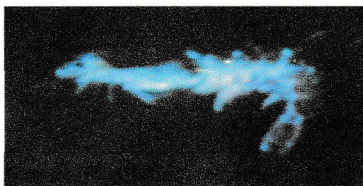


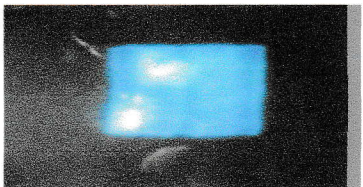
発光釣り餌



発光エビ



発光擬似餌



- 従来の発光バクテリアは -50°C 以下でないと休眠しなかったが、今回常温での休眠が可能になったため、2室分離袋での商品開発となりました。
- 生物発光は弱いですが、LEDのように強い発光は魚類にとって忌避反応があるが、逆に生物発光は集魚効果がある。深海では生物発光が唯一の明かりとなり漆黒の闇にはならない。
- 別々の袋に入れておいた発光バクテリアとイカゴロ培地を袋の中で混ぜ合わせ発光液を作成し、発光液にイカ短冊やエビを浸し、鮮度保持の目的で8時間冷蔵保存し、発光釣り餌をつくる。発光は3~4日続く。適温は 21°C 。
- 発光擬似餌は無臭コンニャク粉、デンプンとイカゴロ培地で作成された擬似餌と、別の袋に入れておいた発光バクテリアを袋の中で混ぜ合わせ、発光擬似餌を作成する。条件に因るが所要時間は1~8時間必要。
- 商品（発光釣り餌）は冷凍保存してください。使用期限は常温で1週間、冷蔵保存で1ヶ月、家庭用冷凍保存で6ヶ月です。

株式会社イケテック

URL: <http://www.hakko-iketech.co.jp>